

個人投資家の皆様へ 会社説明会

2024年12月17日



第一実業株式会社

証券コード：8059
(東証プライム)

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があり、これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。



I. 会社概要

II. 成長戦略

III. 2025年3月期 第2四半期連結決算概要

IV. 注力分野・環境負荷低減に向けた取り組み

V. 株主還元・株価

VI. まとめ

独立系 総合機械商社

自由な立ち位置で、さまざまな産業分野のお客様に
最適な機械や設備とソリューションを提供する企業



I . 会社概要

創立



76年
Since 1948

従業員数



単体

652名

連結

1,455名

* 2024年9月30日現在

海外拠点数



17カ国

35拠点

* 2024年9月30日現在

取引企業数



得意先

約 **3,900**社

仕入先

約 **4,700**社

財務情報



連結売上高

187,790百万円

海外売上高比率

(仕向け先ベース)

48.2%

* 2024年3月期

長期発行体格付

(株式会社日本格付研究所(JCR))

* 2024年9月5日現在

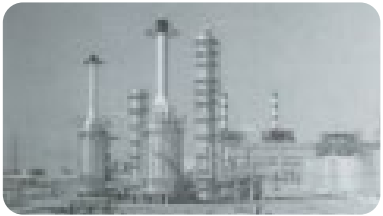
A⁻ (安定的)

沿革（創業～70年代：事業領域の拡大）



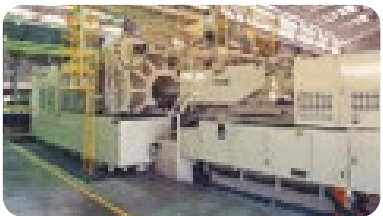
1948年 創業

- 機械専門の商事会社として創業



1950年代 事業基盤の確立

- 基幹産業である石油精製などのビジネスを展開
- プラスチック業界へ進出
- 徳山出張所開設（1956年11月）



1960年代 営業手法の拡大・海外展開開始

- 東証二部上場
- 初の海外駐在員事務所を台湾・台北に設立
- 自動車業界へ進出



1970年代 取扱製品・ビジネスモデルの拡充

- 東証一部上場
- メンテナンスサービスを開始（現・株式会社第一メカテック設立）
- 医薬業界へ進出

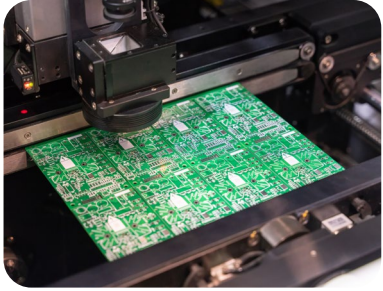
社是三原則

協力一致
堅実運営
積極活動

【創業時営業方針】

1. 機械販売に徹する
2. 大手企業との取引
3. 銀行との信頼関係を大切にする

沿革（1980年～2000年代：海外展開の拡大）



1980年代 新たな業界へ進出

- エレクトロニクス業界へ進出
- 航空業界へ進出



1990年代 海外拠点の拡充

- タイ・バンコクに現地法人 DAIICHI JITSUGYO (THAILAND) CO., LTD. 設立
- 中国・上海に現地法人 上海一実貿易有限公司 設立



2000年代 海外ネットワークの確立

- 第一実業ビスウィル株式会社発足（カネボウビジョンシステム（株）の全株式取得）
- リチウムイオン電池分野に進出
- シンガポールに現地法人 DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE. LTD. 設立
- ドイツ・エシュボルンに現地法人 DJK EUROPE GMBH 設立



2010年代 再生可能エネルギー関連ビジネスへ注力

- LIBプロジェクト室の設置
- 太陽光発電事業開始（笠間太陽光発電所・飯田太陽光発電所）
- バイナリー発電装置の取扱開始



2020年代 次世代型エンジニアリング商社を目指して

- 経営理念の制定・成長戦略「V2030」・中期経営計画「MT2024」の策定
- エンジニアリング本部の発足
- 株式会社ウェイブエンジニアリングの株式を取得
- つばめBHB株式会社との資本業務協定を締結
- 田原バイオマス発電所合同会社への出資
- 米国・スタートアップ企業 MODE社へ出資
- インドに製造子会社 DJK ENGINEERING INDIA PVT.LTD. 設立

幅広い業界に事業を展開し、安定経営を継続

プラント・エネルギー



石油・化学
エネルギー
製紙
バイオマス

8.4%

産業機械



家電
住宅設備
医療機器
食品包装
物流資材
いちご苗

14.9%

自動車



自動車
自動車部品

20.7%

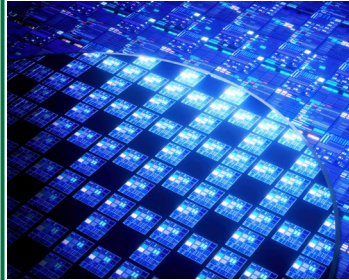
ヘルスケア



医薬品
化粧品
健康食品
再生医療

6.8%

エレクトロニクス



電子機器
電子部品
半導体
スマート物流

26.9%

航空・インフラ



航空
防衛
防災
社会インフラ

4.0%

エネルギーソリューションズ



リチウムイオン・
バッテリー
全固体電池

18.2%

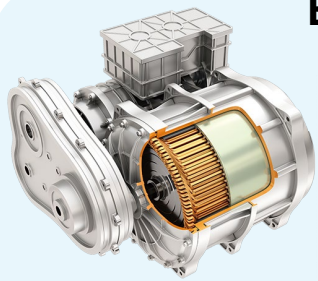
さまざまな機械メーカーと製造業をつなぐ



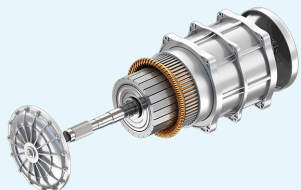
消費者の皆さまへ



EV駆動モジュール



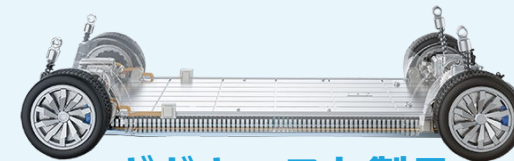
e-Axle



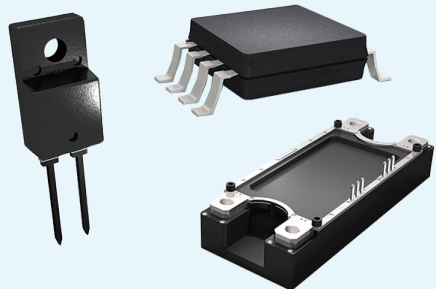
モーター



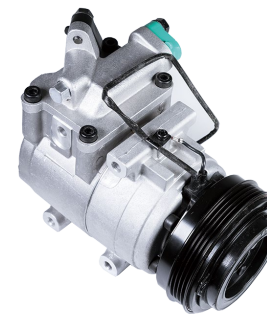
インバーター



ギガキャスト製品



パワー半導体



電気コンプレッサー



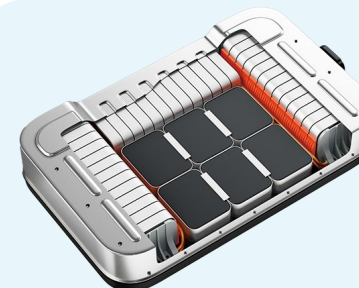
電動ブレーキシステム



電動パーキングブレーキ



電動パワー
ステアリングシステム



リチウムイオン・
バッテリー



電動ウォーターポンプ

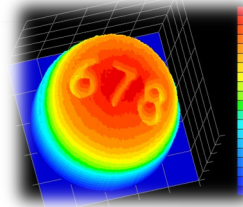


医薬



viswill

第一実業ビスウィル社製
錠剤外観検査システム



各種医薬品包装機



医療機器



ディスポーザブル医療機器



セルフメディケーション分野

トータルコーディネート

お客様の課題に一括対応

ものづくり企業に貢献

持続可能な社会の実現

- ソリューション提案
- 構想設計・メーカー選定
- 新工場の立ち上げ支援
- プロジェクト管理
- グローバル支援体制
- 多様なニーズへの対応

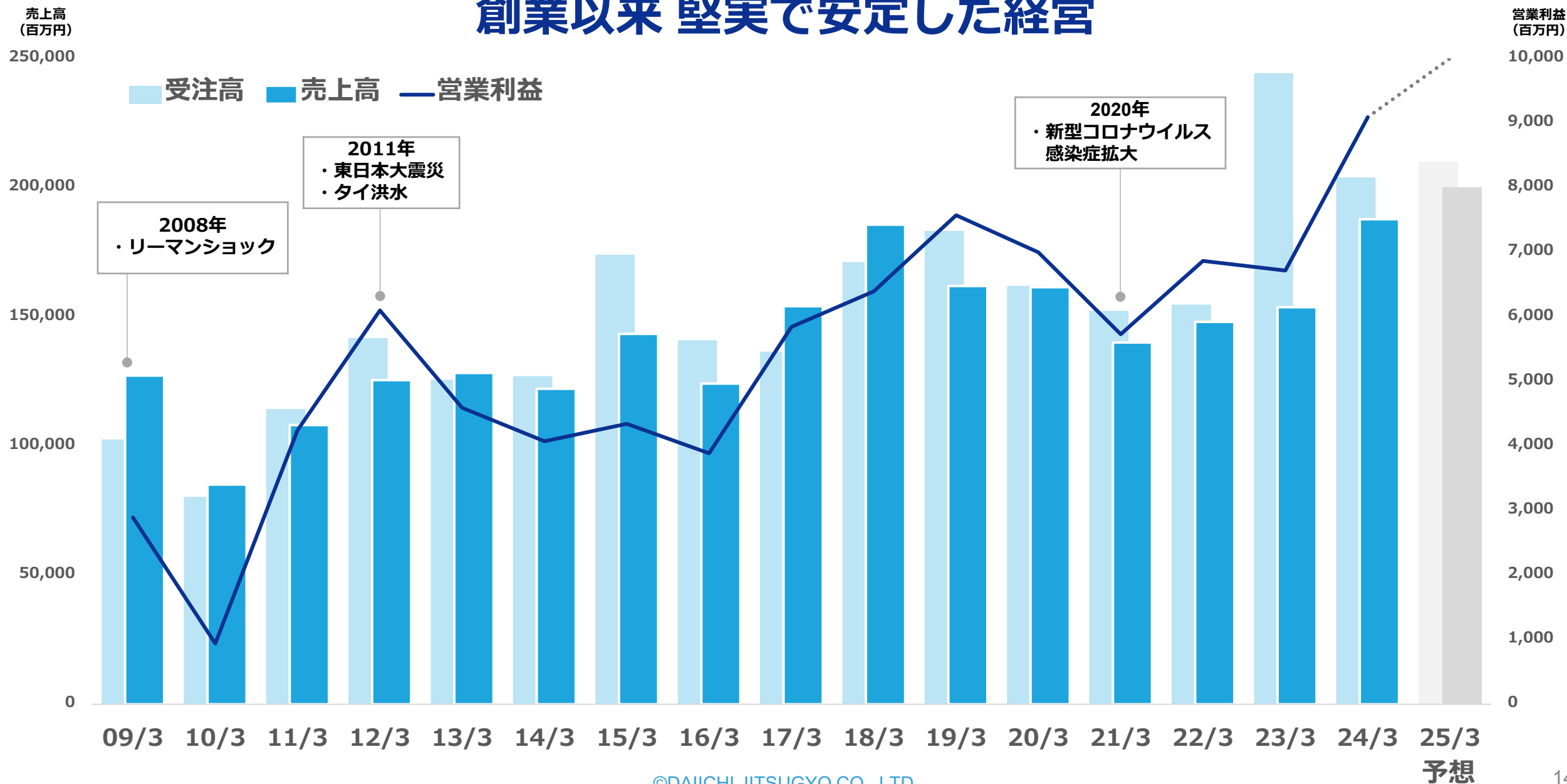
モノ売り

- 設備販売
- アフターサービス

II. 成長戦略



創業以来 堅実で安定した経営



Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

Vision

あるべき姿

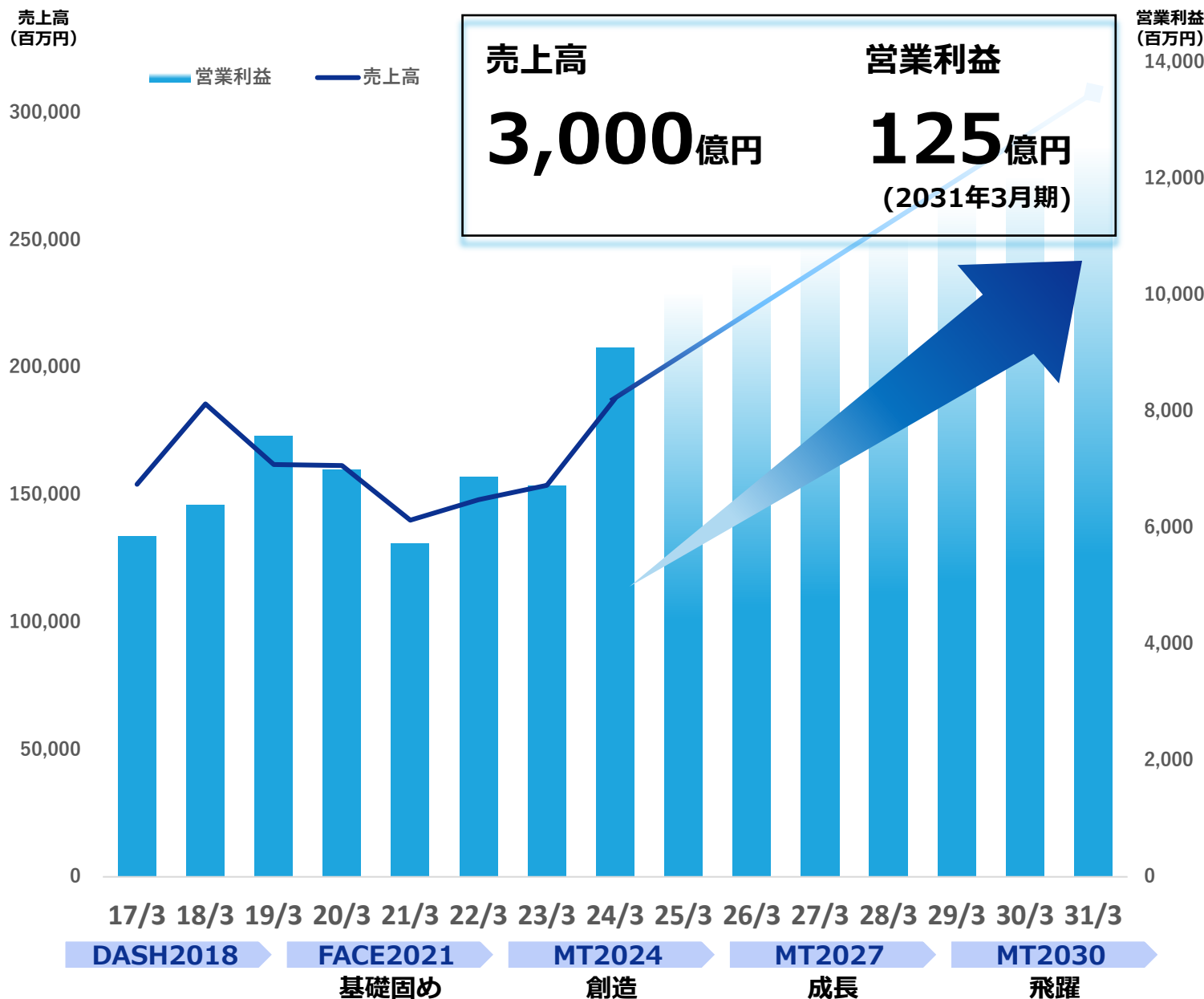
次世代型エンジニアリング商社

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、
当社独自のエンジニアリング機能を核として継続的な価値を提供する

成長戦略「V2030」

基本戦略

1. 積極的な投資
2. PL経営 + BS経営
3. マルチステークホルダーを意識した経営
4. モノ売りから「モノ x コト」売り
5. グローバルの成長を取り込む
6. DX推進



基本方針

1. 成長に向けた事業戦略

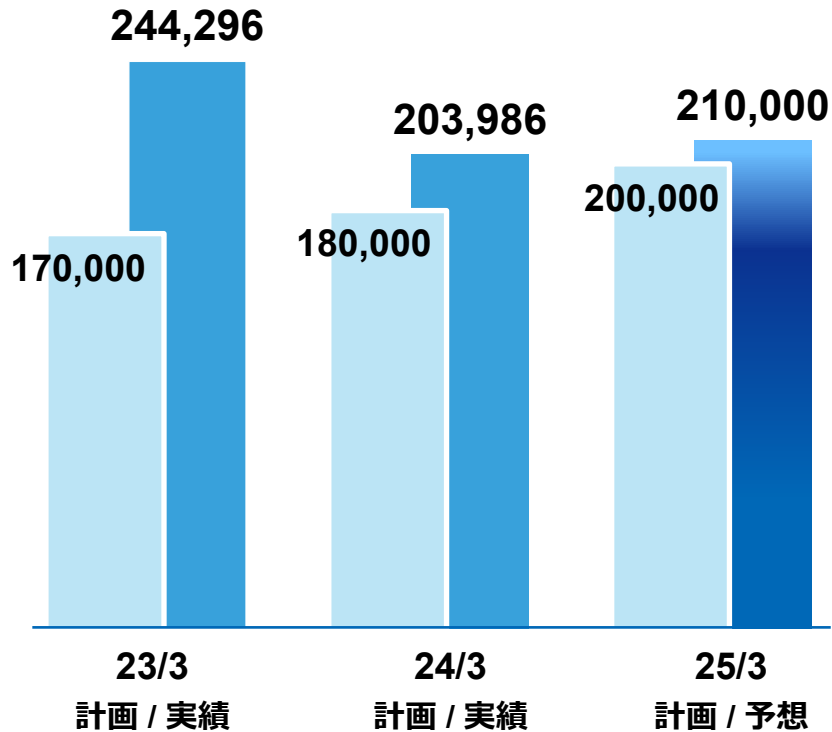
- ① エンジニアリング機能の強化
- ② 戦略的事業投資
- ③ グローバル企業とのビジネス拡大
- ④ DX強化

2. 経営基盤の強化

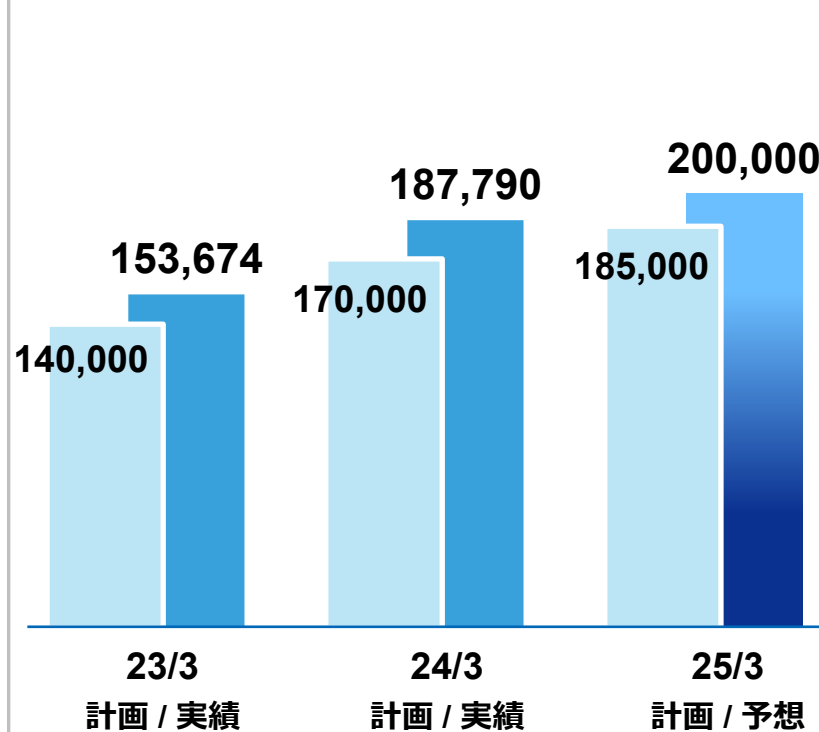
- ① ガバナンスの深化
- ② リスクマネジメントの強化
- ③ 財務戦略の強化
- ④ 人材戦略の強化
- ⑤ サステナビリティ経営の推進

単位：百万円

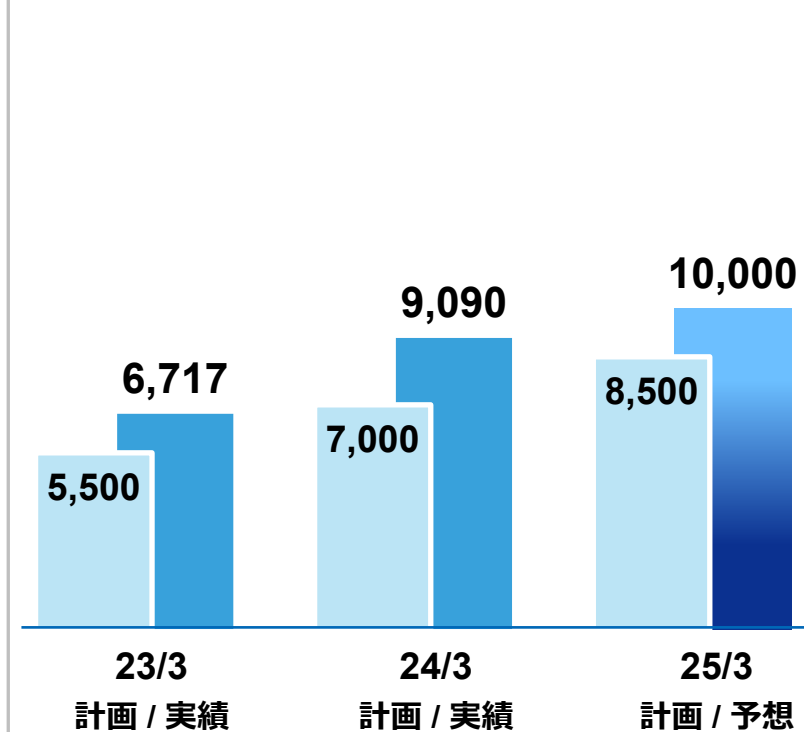
受注高



売上高



営業利益

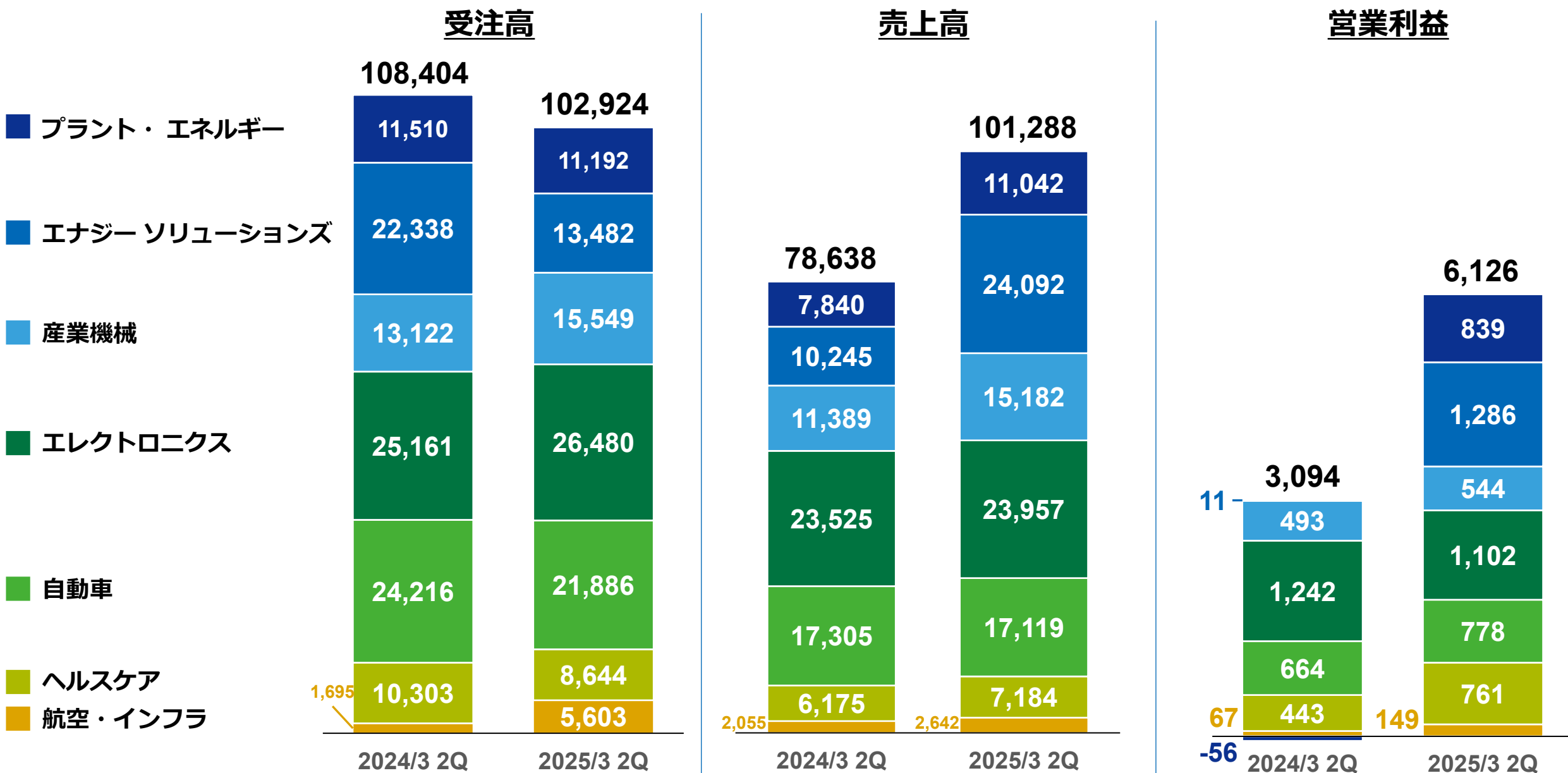


Ⅲ. 2025年3月期 第2四半期連結決算概要

決算のポイント：上半期で売上高、各段階利益ともに過去最高値

単位：百万円	2024/3 (2Q)	2025/3 (2Q)		2025/3	
	実績	実績	前年同期比	通期予想	進捗率
受 注 高	108,404	102,924	▲ 5.1%	210,000	+ 49.0%
売 上 高	78,638	101,288	+ 28.8%	200,000	+ 50.6%
営 業 利 益	3,094	6,126	+ 98.0%	10,000	+ 61.3%
経 常 利 益	3,033	6,214	+ 104.9%	10,300	+ 60.3%
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	2,464	4,290	+ 74.1%	7,300	+ 58.8%
E P S	77.76円	135.23円	+ 57.47円	-	-

セグメント別 受注高・売上高・営業利益



海外売上高 (仕向け先ベース)

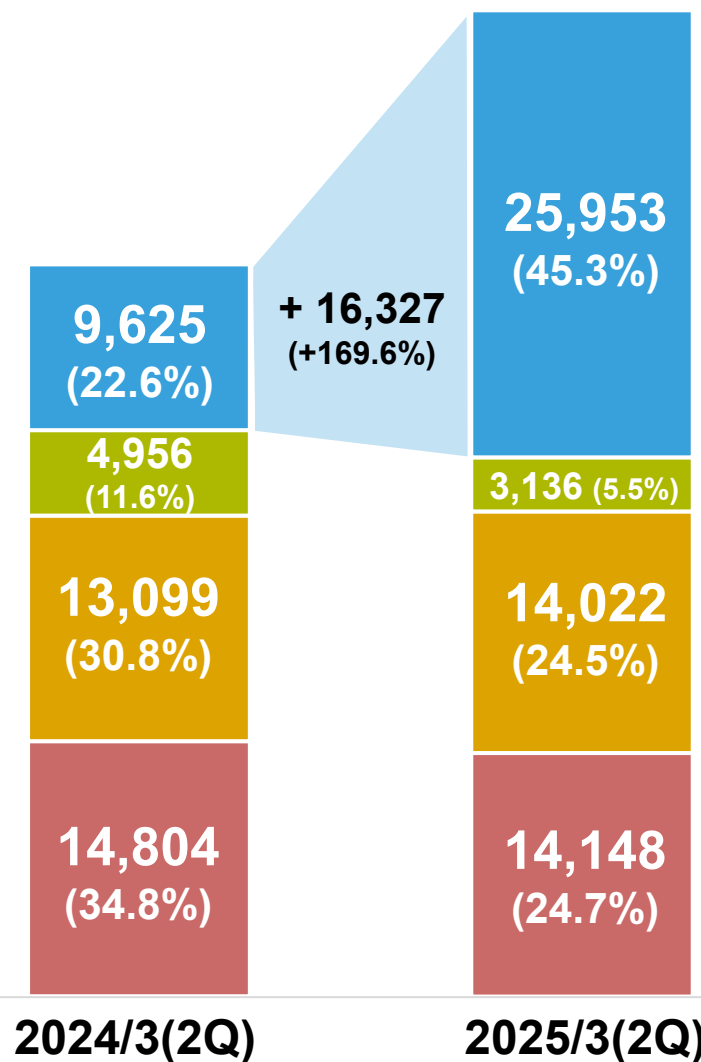
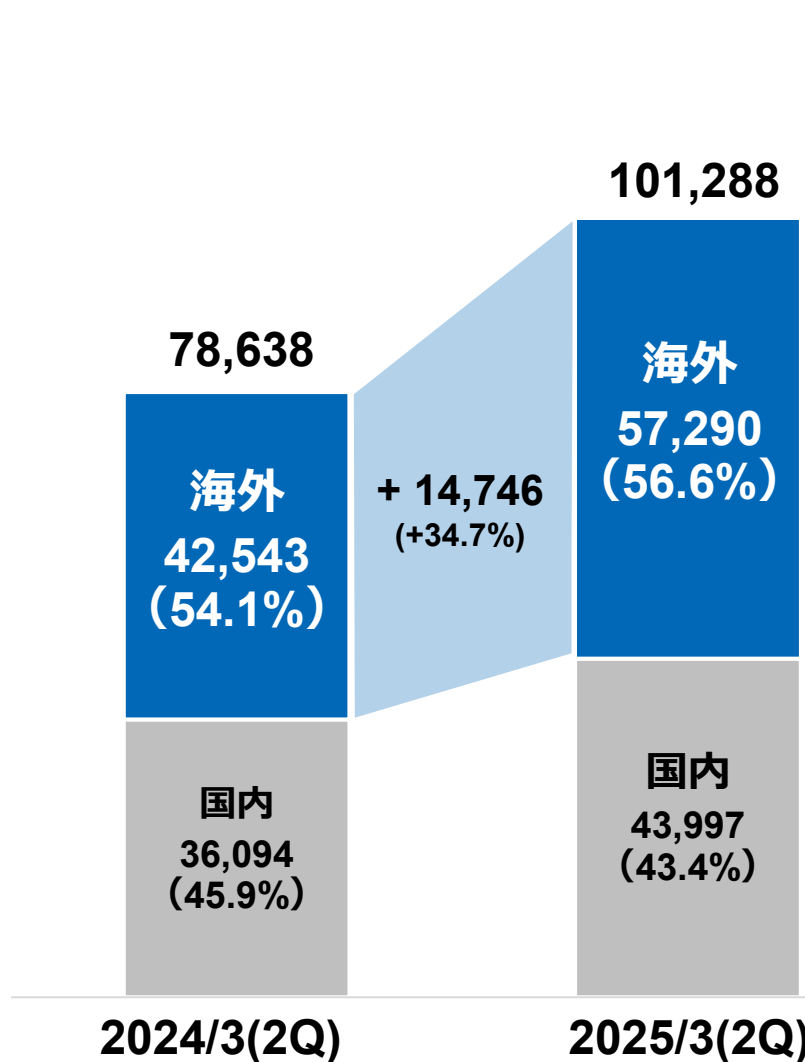
国内・海外のカッコ内数値は、総売上高に対する売上高の比率
各エリアのカッコ内数値は、海外売上高に対する比率

売上高

エリア別売上高

単位：百万円

米州 欧州 アジア 中国



米州 ▲ +16,327 (+169.6%)

・エナジーソリューション事業で
リチウムイオン・バッテリー製造装置が
好調

欧州 ▼ ▲1,819 (▲36.7%)

・リチウムイオン・バッテリーは一服
・プラント・エネルギー事業で
大型プラント案件の売上計上

アジア ▲ +922 (+7.1%)

・ヘルスケア事業で
エンジニアリングを伴う大型案件の
売上を計上

中国 ▼ ▲655 (▲4.4%)

・自動車事業で日系顧客向け売上減少

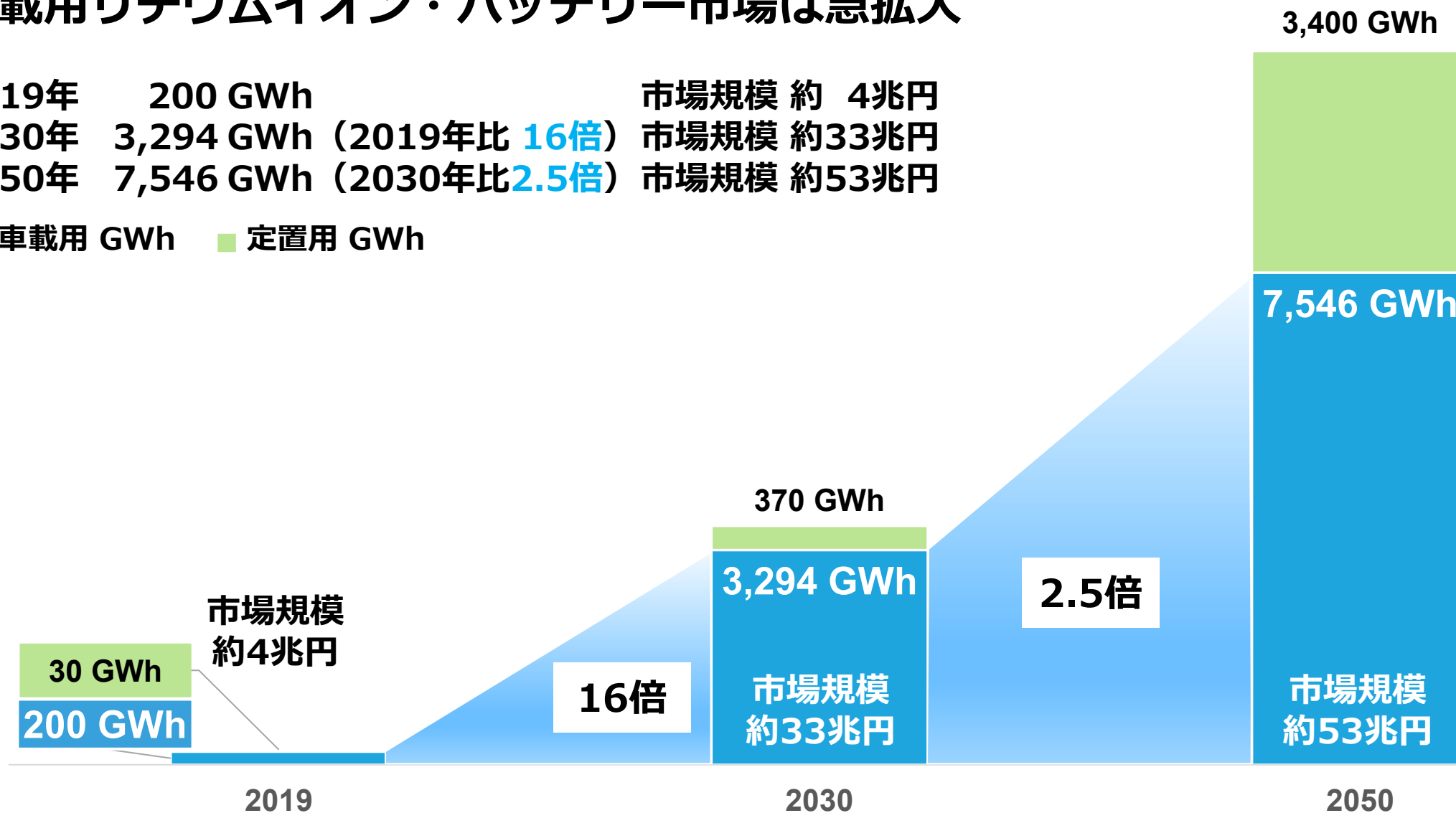
IV. 注力分野・環境負荷低減に向けた取り組み

リチウムイオン・バッテリー製造

車載用リチウムイオン・バッテリー市場は急拡大

2019年	200 GWh	市場規模 約 4兆円
2030年	3,294 GWh (2019年比 16倍)	市場規模 約33兆円
2050年	7,546 GWh (2030年比 2.5倍)	市場規模 約53兆円

■ 車載用 GWh ■ 定置用 GWh

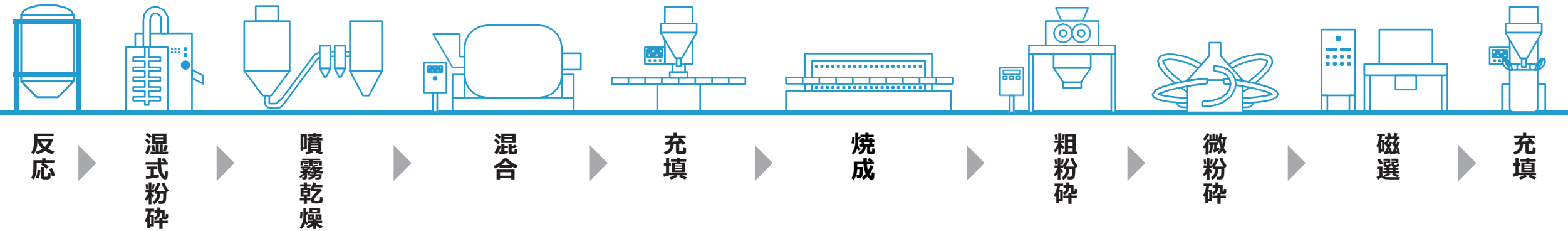


* 経済産業省「蓄電池産業戦略」3ページ【蓄電池市場の拡大】をもとに当社作成

リチウムイオン・バッテリー製造設備

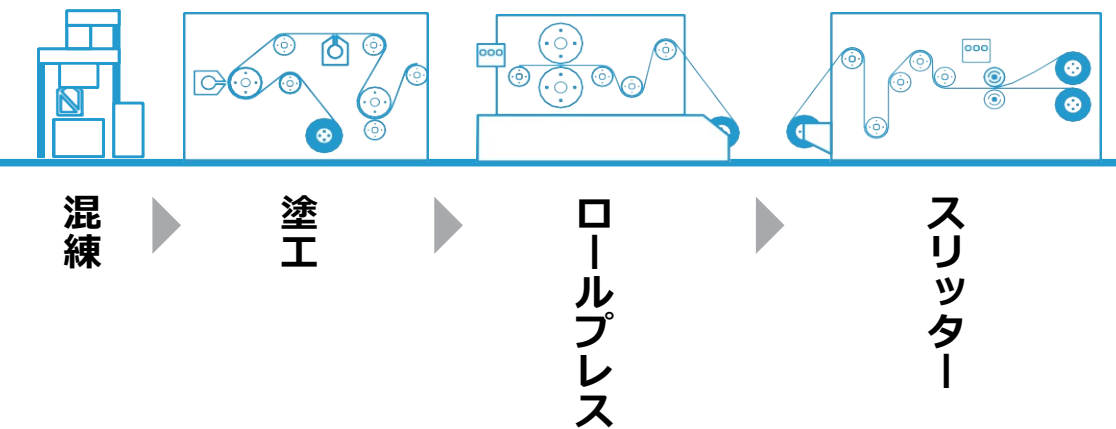
材料からセル製造まで幅広い設備をラインナップ

材料プロセス工程

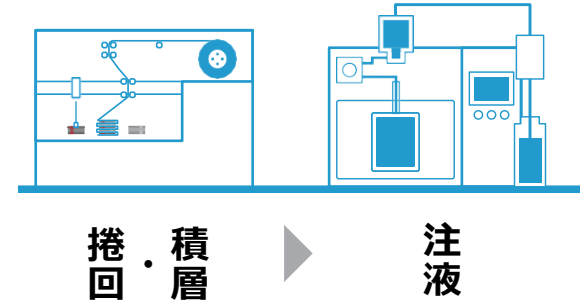


セル製造プロセス工程

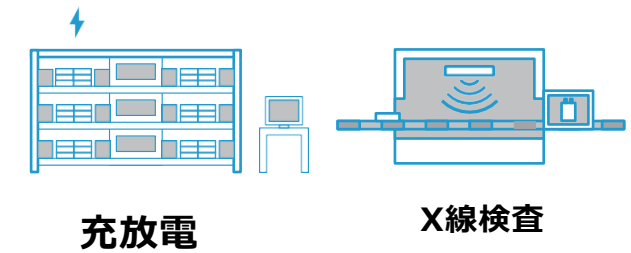
電極工程



組立工程



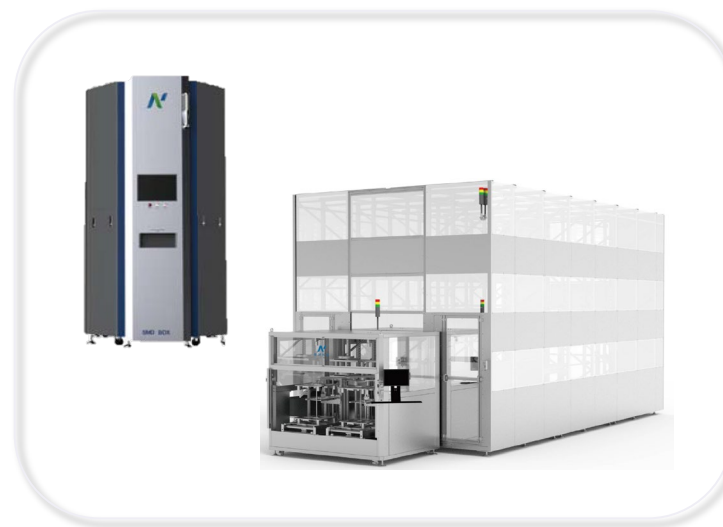
検査工程



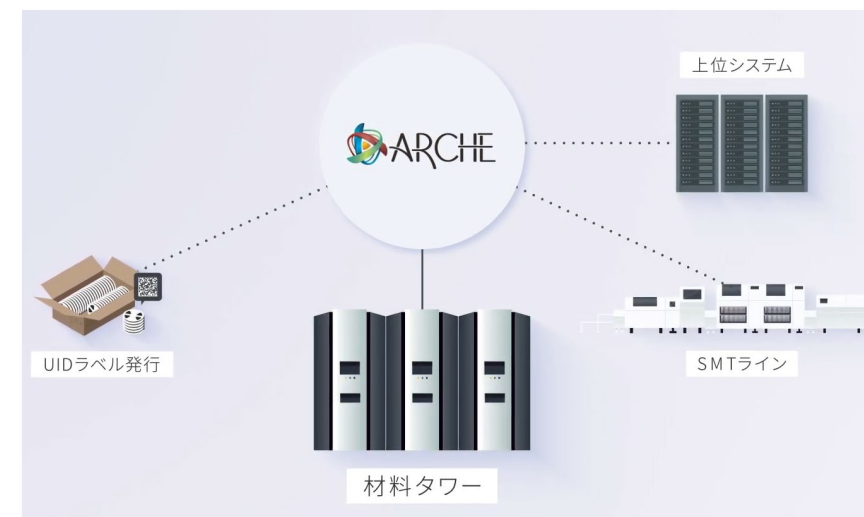
物流自動化ソリューションLOGITO



電子部品実装ライン



材料入出庫の自動化



材料管理設備のコントロール・
現場と上位システムとの連動



物流倉庫自動化



棚搬送AGVによる
省人化の実現



IoT統合プラットフォーム

現場データの収集

蓄積・整理

分析

業務改善



IoT x **生成AI**

現場状況の報告

アラート通知

多言語モデル「GPT-4o」搭載

出資



工場DXの加速

- ・業務効率化
- ・省力化・省人化
- ・人的ミスの削減

- ・コミュニケーションの円滑化
- ・生産性向上
- ・品質価値向上

環境負荷低減に向けた取り組み

3月 太陽光発電事業開始
4月 バイナリー発電装置の取扱開始

3月 第一実業飯田太陽光発電所

8月 環境省・GEC(地球環境センター)
「二国間クレジット制度・設備補助事業」初採択



田原バイオマス発電所建設予定地（愛知県田原市）

2013

2014

2019

2021

2022

2023

2024

4月 サステナビリティ推進部発足
12月 TCFDレポート発行

5月 環境省主催の
「デコ活」に賛同

3月 田原バイオマス発電所合同会社への出資
4月 サステナビリティ推進委員会を設置
8月 TCFD提言への賛同

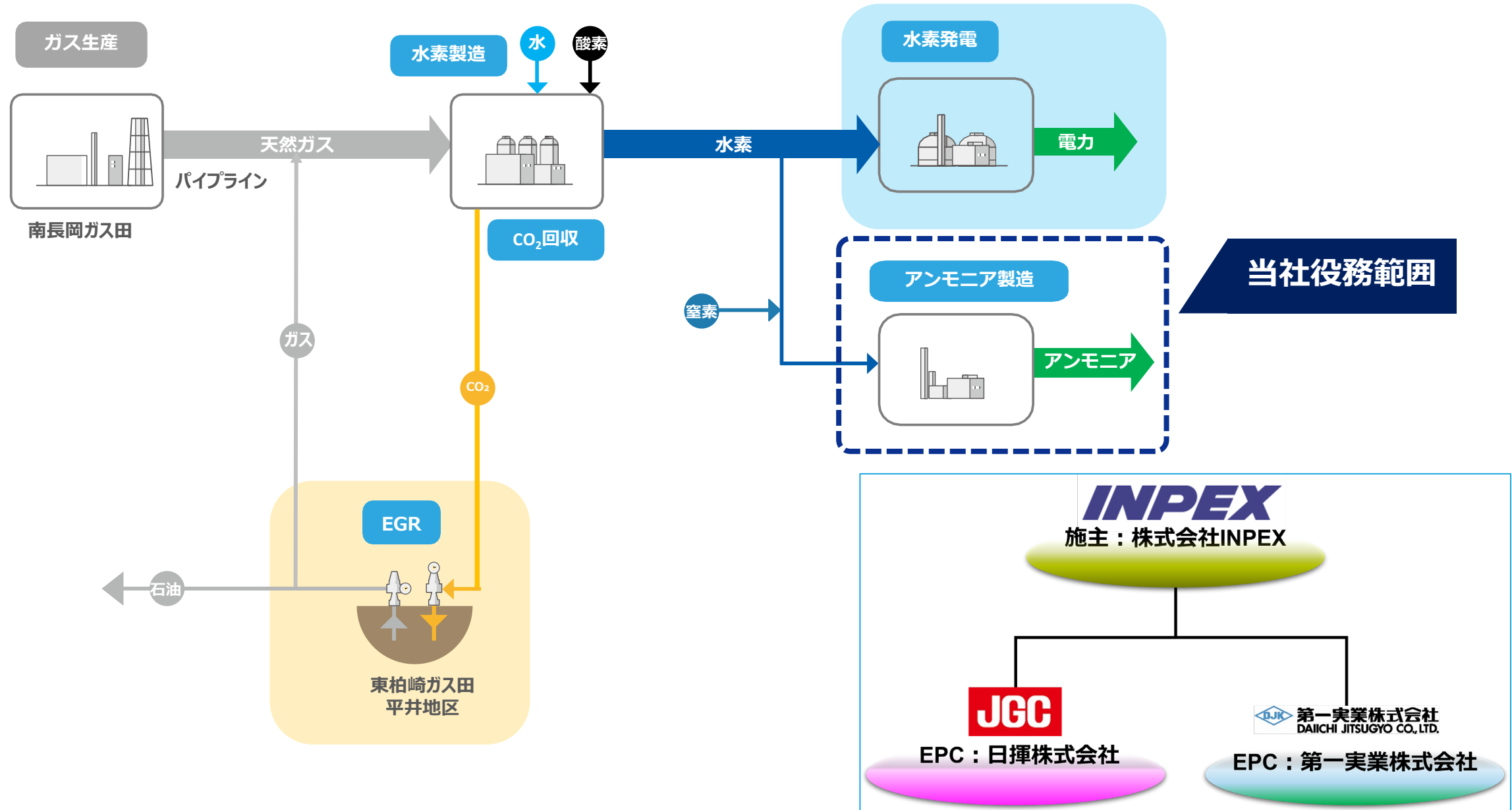
6月 つばめBHB株式会社との資本業務協定を締結
オンサイト型アンモニア合成システムの実用化
低環境負荷アンモニア技術の普及促進

12月 持続的な成長を維持するため
マテリアリティ（重要課題）の特定



第一実業飯田太陽光発電所（長野県飯田市）

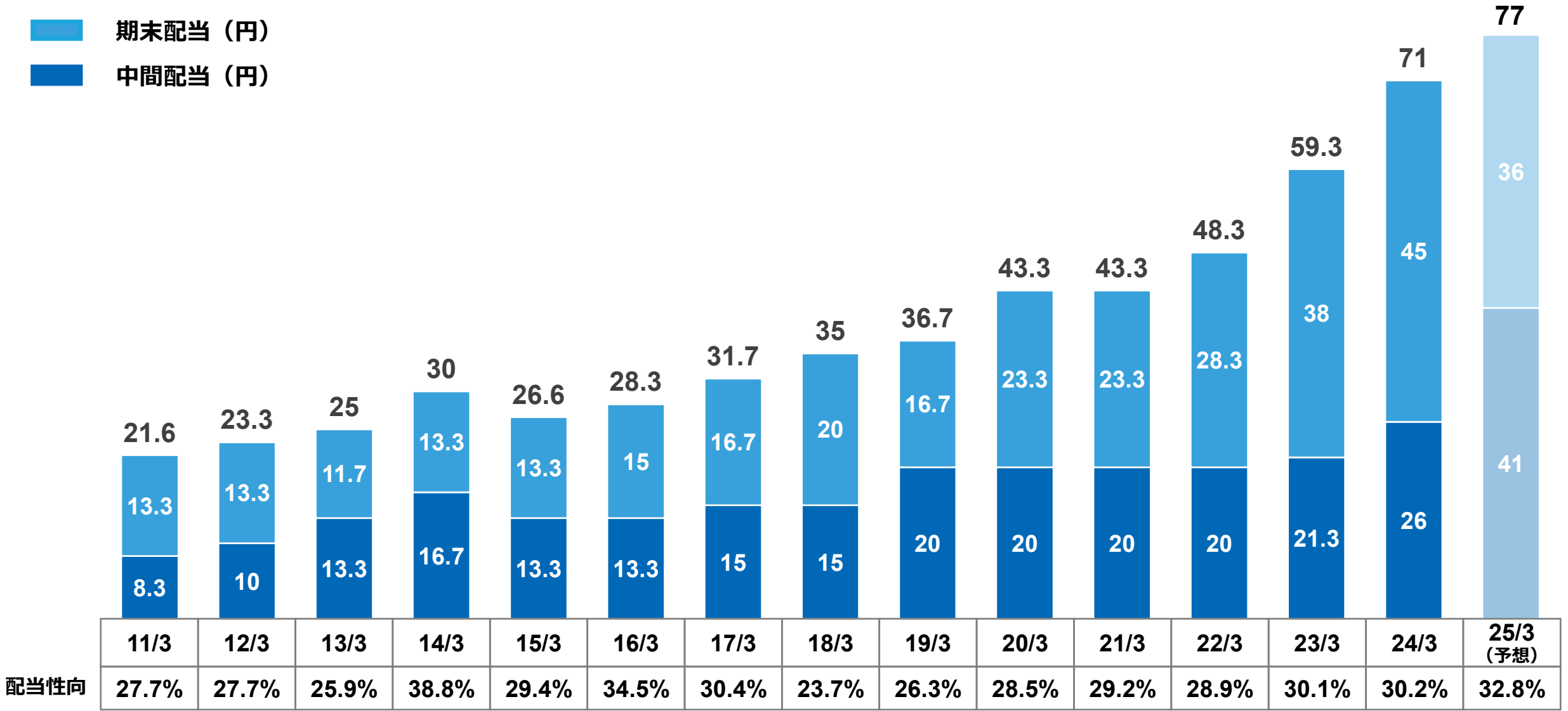
国内初 ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験



V. 株主還元・株価

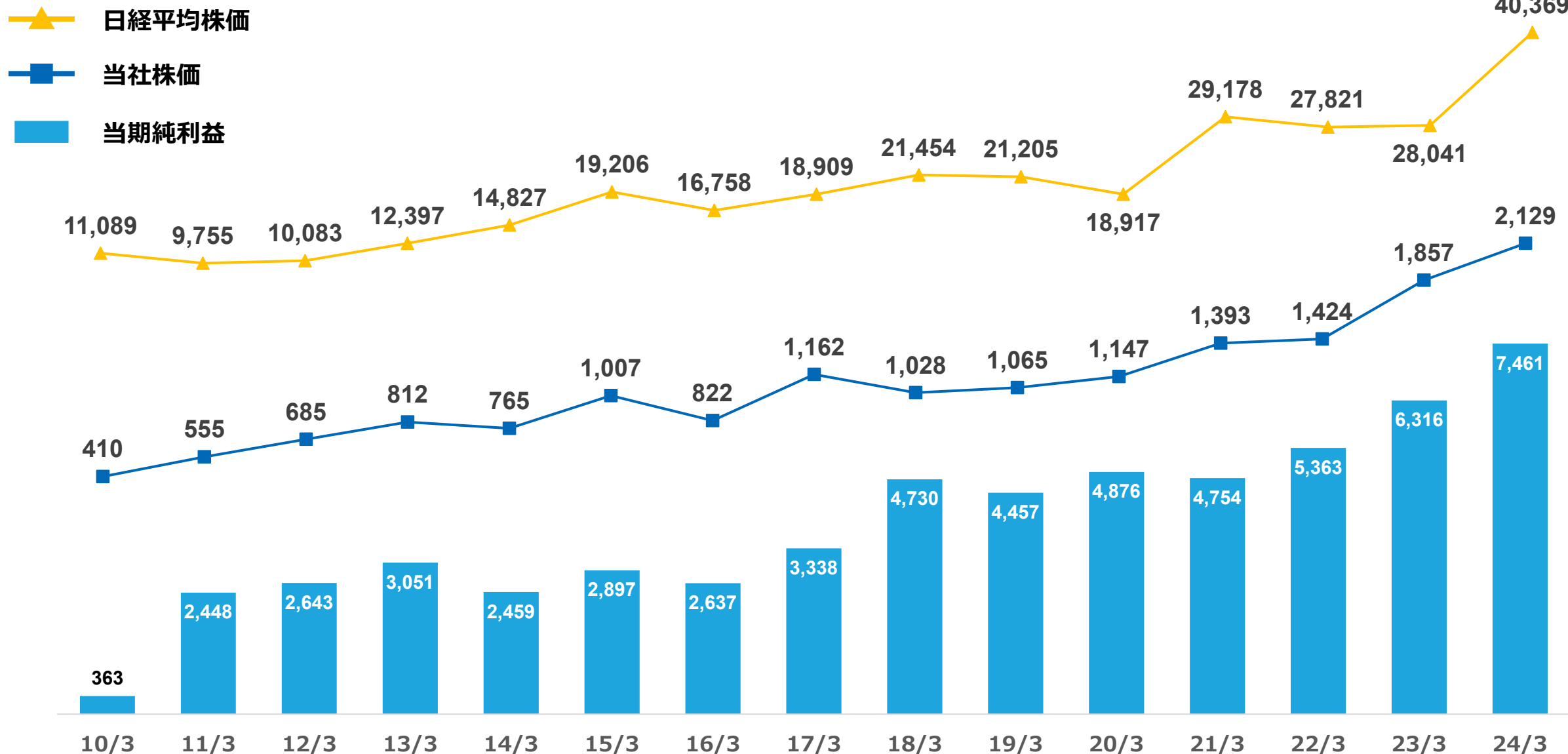
配当金・配当性向

■ 期末配当 (円)
■ 中間配当 (円)



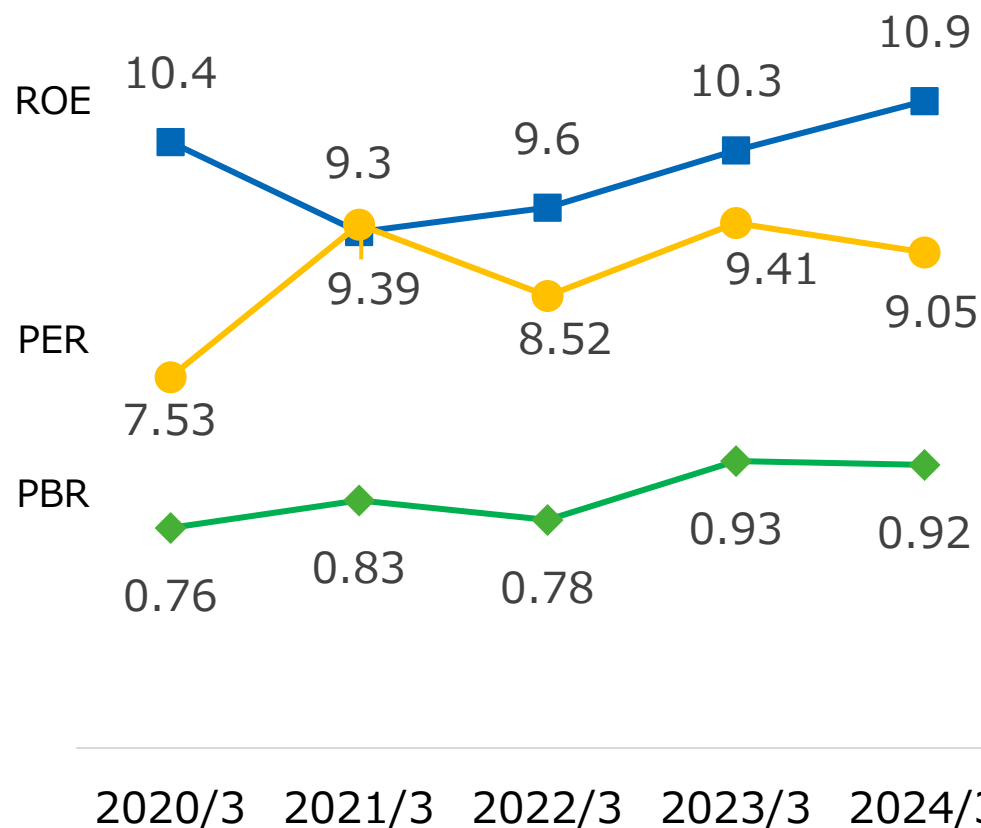
注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の年間配当金は株式分割考慮後の数値を記載しております。

当社株価と日経平均株価の推移



注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の株価は株式分割を反映したものです。

ROE・PER・PBR 過去5年の推移

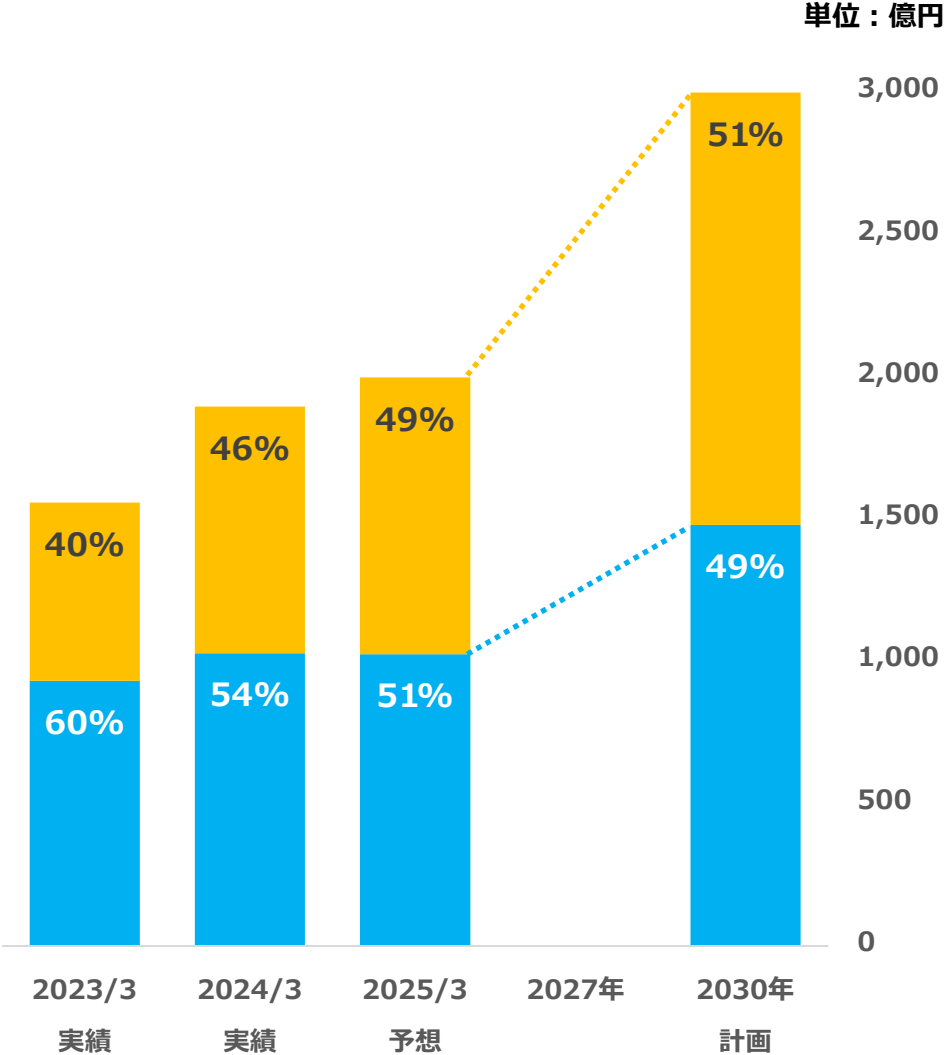
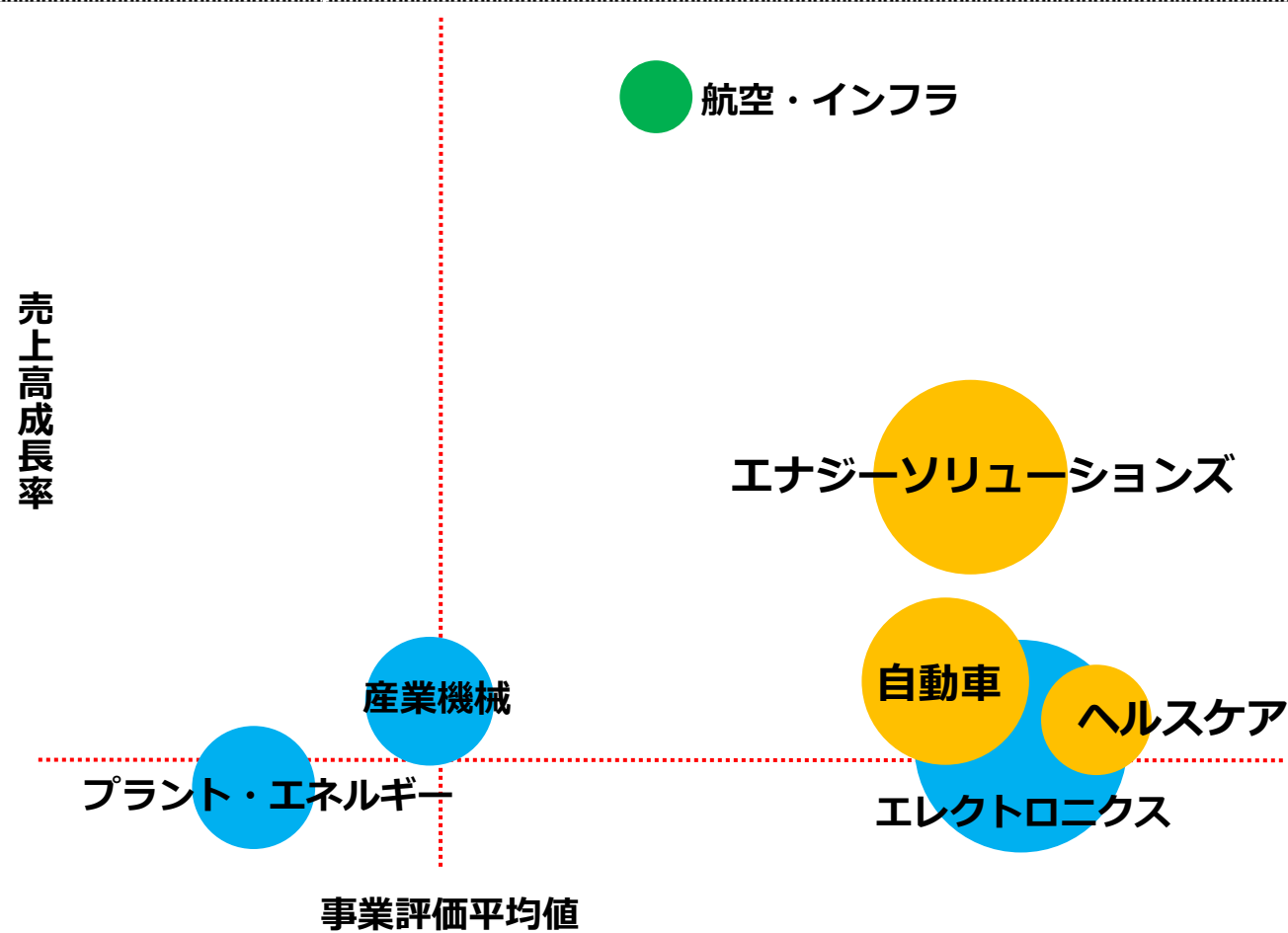


企業価値向上のための施策

- 1. 積極的な事業投資**
コアビジネスをさらに強化し、成長を加速させる
- 2. 人的資本投資**
エンジニアの採用強化、女性比率向上、
外国籍人材や経験者採用、幹部候補育成等
- 3. 事業ポートフォリオの可視化**
経営資源の最適配分
- 4. IR活動の強化**
統合報告書や、機関投資家・個人投資家様説明会等
投資家の皆さまとのより積極的な対話

事業ポートフォリオ分析

重点領域	エネルギーソリューションズ	自動車	ヘルスケア
基盤領域	プラント・エネルギー	産業機械	エレクトロニクス
成長期待	航空・インフラ		
重点エリア	米州	インド	



売上高と構成比

■ VI. 本日のまとめ

■ 独立系 総合機械商社

自由な立ち位置、幅広い設備の取り扱いに強み

■ 長期安定経営

ものづくり企業の縁の下の力持ち、時代のニーズをとらえて業容拡大

■ 独自のエンジニアリング

製造現場のトータルコーディネイト、製造業にとってなくてはならない存在

■ 成長戦略

戦略的事業投資をはじめとした基本戦略の着実な実行



人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

参考資料

- 中期経営計画「MT2024」
 - セグメント別計画値
 - セグメント別注力テーマ
- セグメント概要
- 連結業績推移
- 連結財政状況推移

中期経営計画「MT2024」セグメント別計画値

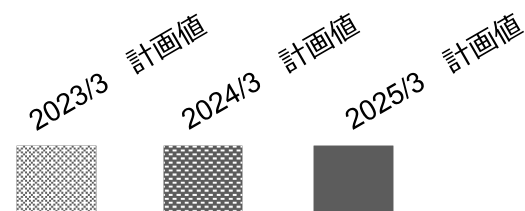
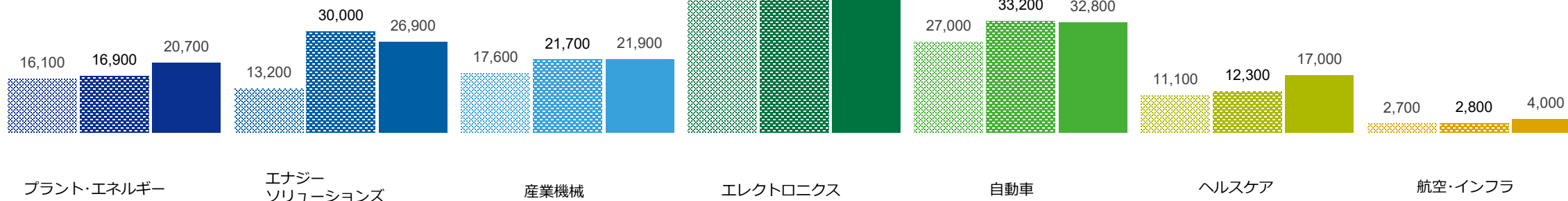
連結売上高合計（百万円）

2023/3 140,000
2024/3 170,000
2025/3 185,000

（注）合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

売上高

単位：百万円



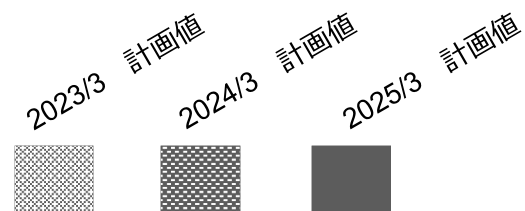
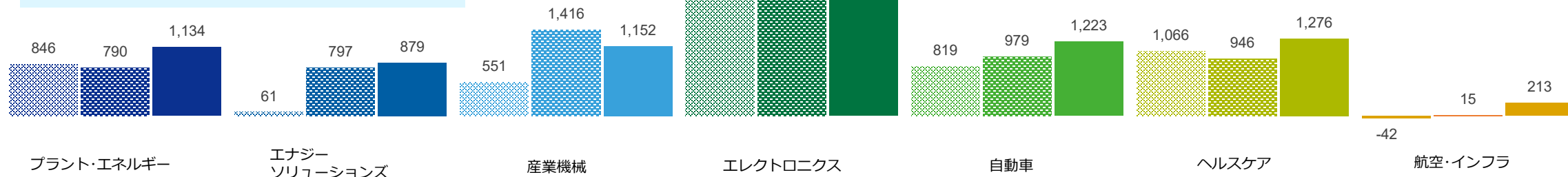
連結営業利益合計（百万円）

2023/3 5,500
2024/3 7,000
2025/3 8,500

（注）合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

営業利益

単位：百万円



中期経営計画「MT2024」セグメント別注力テーマ

プラント・エネルギー

社会的課題（脱炭素×DX×GX）解決に向け、国内外でのプラント、創エネルギービジネスの積極展開

エネルギーソリューションズ

次世代エネルギー分野におけるグローバル対応、エンジニアリング機能等の強みを生かしたさまざまなソリューション提供

産業機械

生分解性樹脂等の環境対応技術の提供やエンジニアリング機能を生かした、地球に優しい世界規模のサプライチェーンの構築

エレクトロニクス

中核事業の安定的成長とスマートファクトリー化の推進、物流自動化ソリューション「LOGITO」の提供

自動車

電動化、自動運転に伴う製品の変化をビジネスチャンスと捉え、カーボンニュートラルへの取り組みを加速

ヘルスケア

マシンエンジニアリング：競争力のある装置開発
プロダクションラインエンジニアリング：エンジニアリング業務拡大
ビジネスエンジニアリング：ビジネスの多様化

航空・インフラ

業界内の変化をビジネスチャンスと捉え、高付加価値、高効率な新商材開拓とサービスの提供

プラント・エネルギー事業

社会基盤を支える基幹産業に対し設備を提供

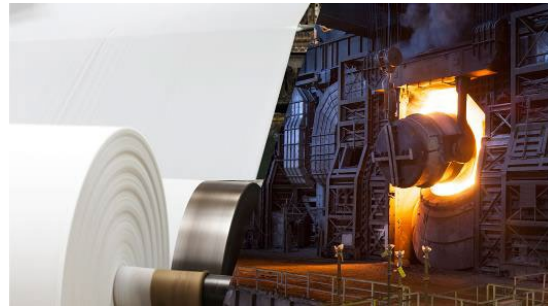
主な取扱商品

- ・ 石油精製・化学・石油化学等のプラント用設備
- ・ 石油・ガス・地熱生産用地上設備、陸上・海上用掘削リグ
- ・ 発電用設備、再生可能エネルギー関連設備
- ・ AI/IoT関連設備
- ・ 環境設備分析・測定装置、安全監視装置

資源・石油・化学



製紙・製鉄



脱炭素



DX



エナジーソリューションズ事業

二次電池製造装置におけるリーディングサプライヤー

主な取扱商品

- ・ 電池材料製造設備、セル電極製造設備、セル・モジュール組立設備および充放電検査設備
- ・ 粉体加工設備
- ・ 燃料電池製造設備
- ・ 電池リサイクル設備

リチウムイオン・バッテリー



燃料電池



リサイクル



次世代電池



川上から川下までの設備をエンジニアリング

主な取扱商品

- ・ 射出成形機、押出成形機、真空成形機
 - ・ 自動組立設備、マテハン・ロボットシステム
 - ・ 樹脂・砂型用3Dプリンター
 - ・ イチゴ苗（育苗）
- ・ 鋳造機、金属加工機、セラミック加工機
 - ・ 塗装、表面加飾設備
 - ・ 充填、包装設備

家電・OA



食品包装



住宅設備



物流資材



医療機器



育苗



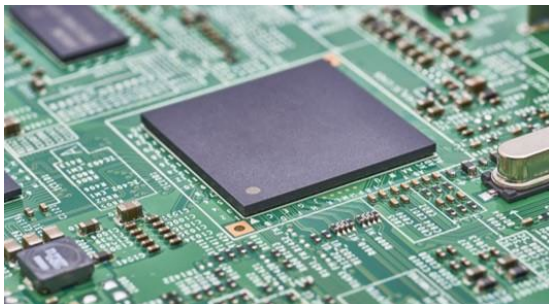
エレクトロニクス事業

最先端技術と経験でものづくりプロセスの改革をもたらすソリューション

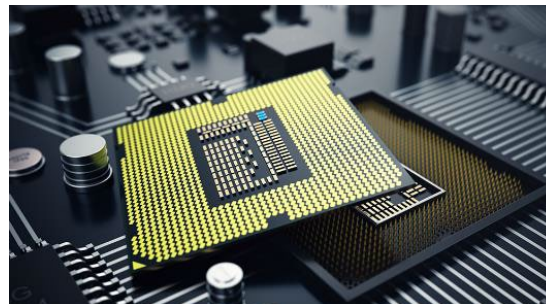
主な取扱商品

- ・ 電子部品実装関連システム（SMT）、SMT周辺装置、後工程自動化設備
- ・ 半導体デバイス関連システム、液晶関連システム
- ・ コーティング・ディスペンス設備
- ・ レーザーマーキング装置（CO2・YAGレーザ、ブルーレーザ）
- ・ 各種検査装置（外観・X線・特性）
- ・ IoT、ソフトウェア
- ・ 「LOGITO」物流自動化ソリューション

表面実装（SMT）



半導体デバイス



物流自動化ソリューション 「LOGITO」



自動車事業

自動車産業をリードするOEMやメガサプライヤーと世界規模で取引

主な取扱商品

- ・ 素形材成形機
- ・ 自動組立設備
- ・ IoT関連機器
- ・ 金属加工機、樹脂加工機
- ・ 各種検査装置
- ・ 塗装・表面加飾設備
- ・ モジュール対応装置

BODY領域



駆動領域



デバイス領域



ヘルスケア事業

医薬製造から健康食品、化粧品、再生医療向け生産設備および生産ラインのエンジニアリング

主な取扱商品

- ・錠剤外観検査システム、錠剤印刷検査システム、カプセル外観検査システム
- ・PTPブリスター包装ライン、四方シール包装ライン、各種包装ライン
- ・バイアル充填ライン、シリンジ充填ライン、粉末剤充填ライン
- ・打錠機
- ・自動細胞培養装置

医薬品



化粧品



食品



航空・インフラ事業

空と地域の安全に貢献

主な取扱商品

- ・ 航空機用地上支援機材
- ・ 災害救援用特殊車両
- ・ 空港用地上支援機材
- ・ 省人・省力化機材
- ・ 空港施設用設備

航空



空港



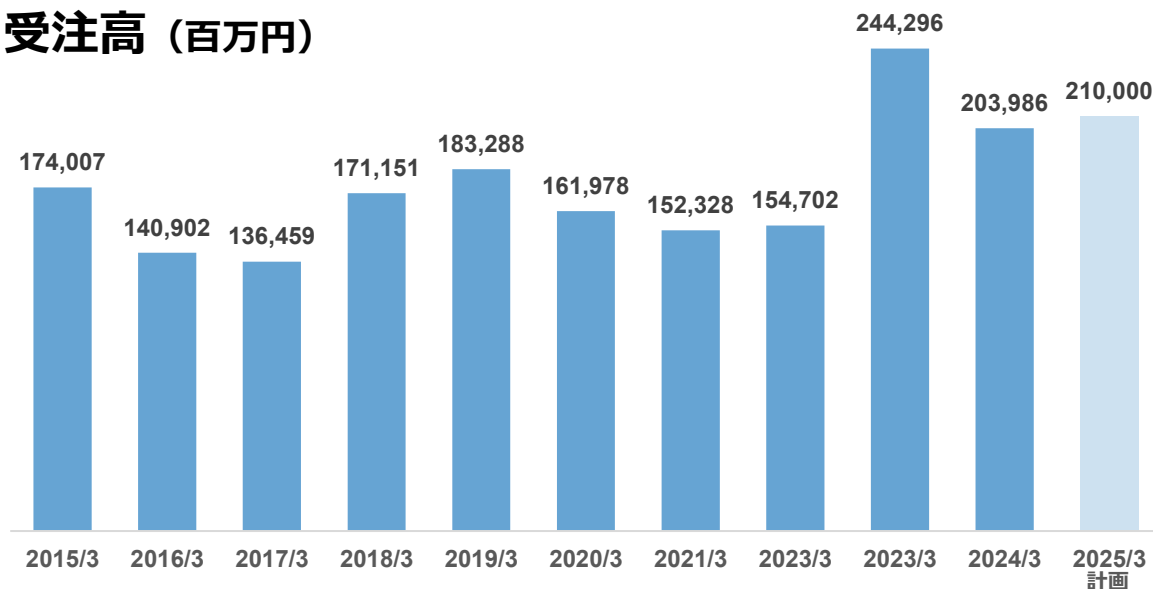
防災・防衛



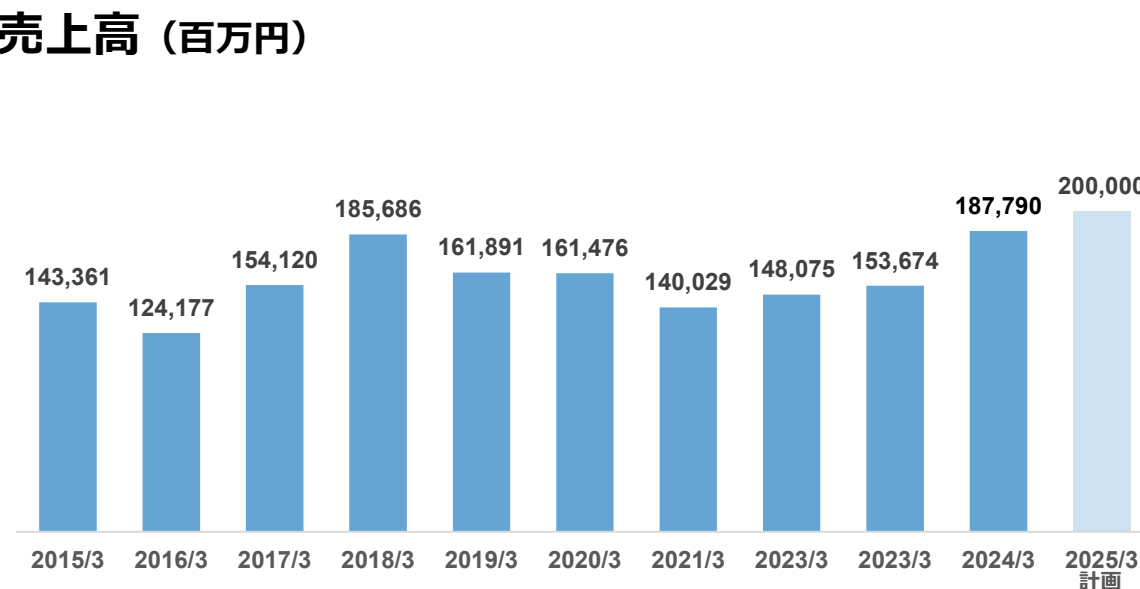
CS



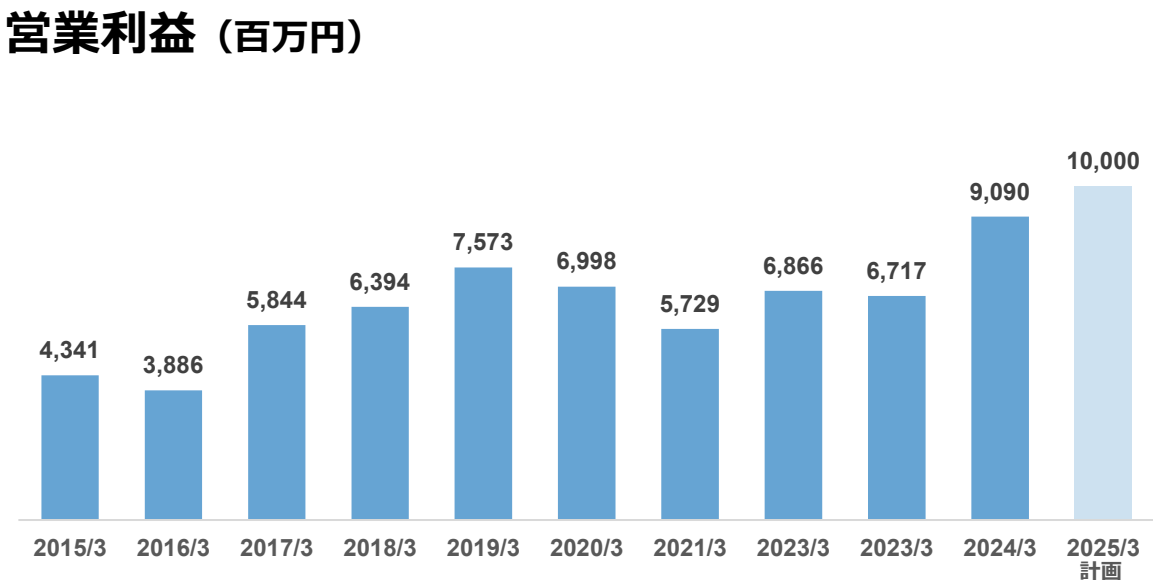
受注高（百万円）



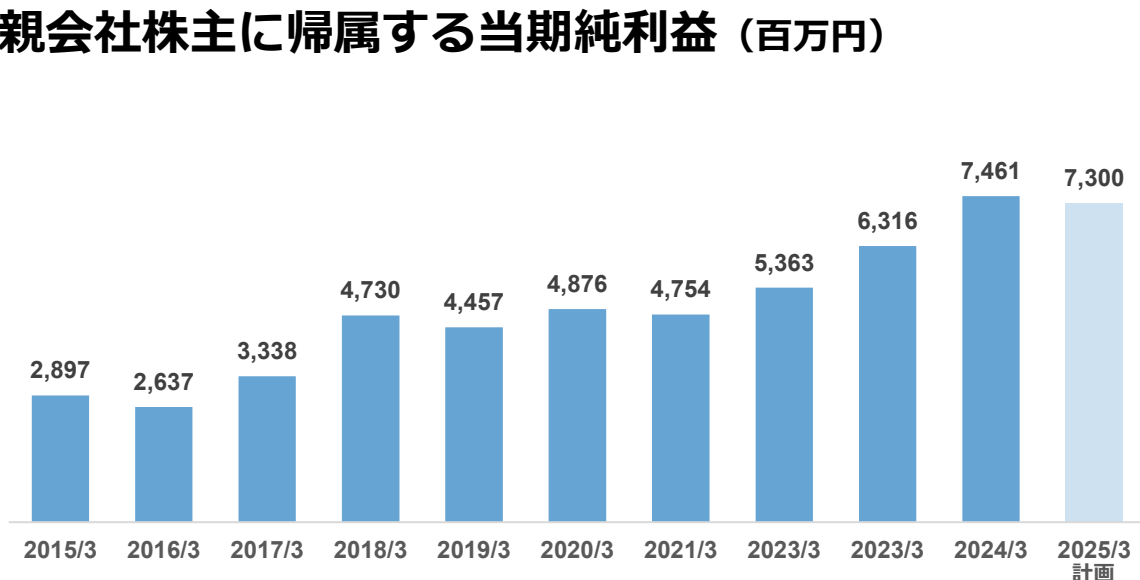
売上高（百万円）



営業利益（百万円）

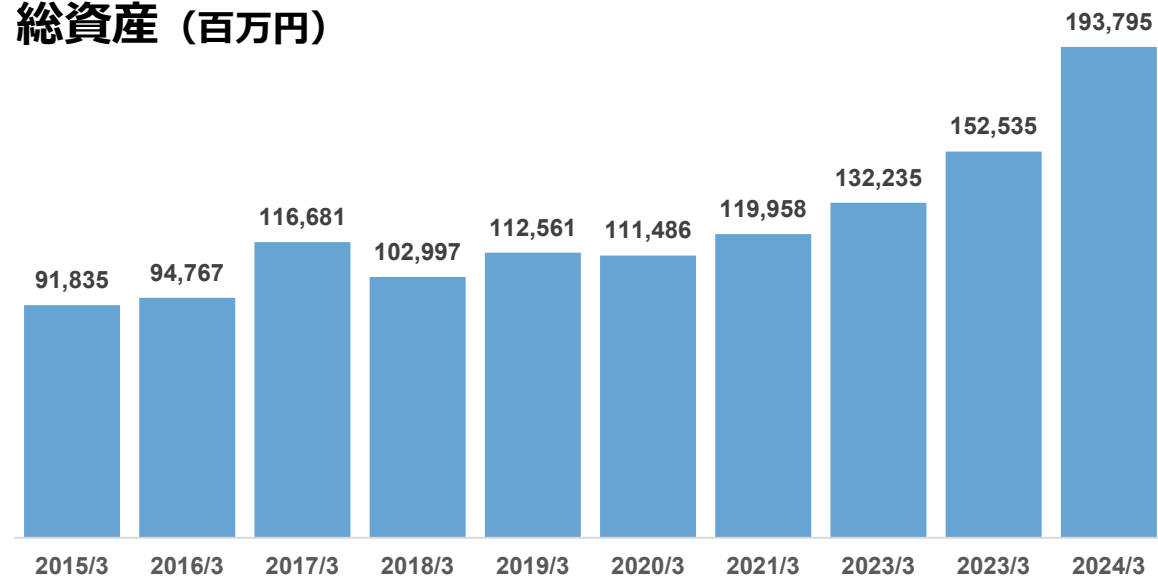


親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）

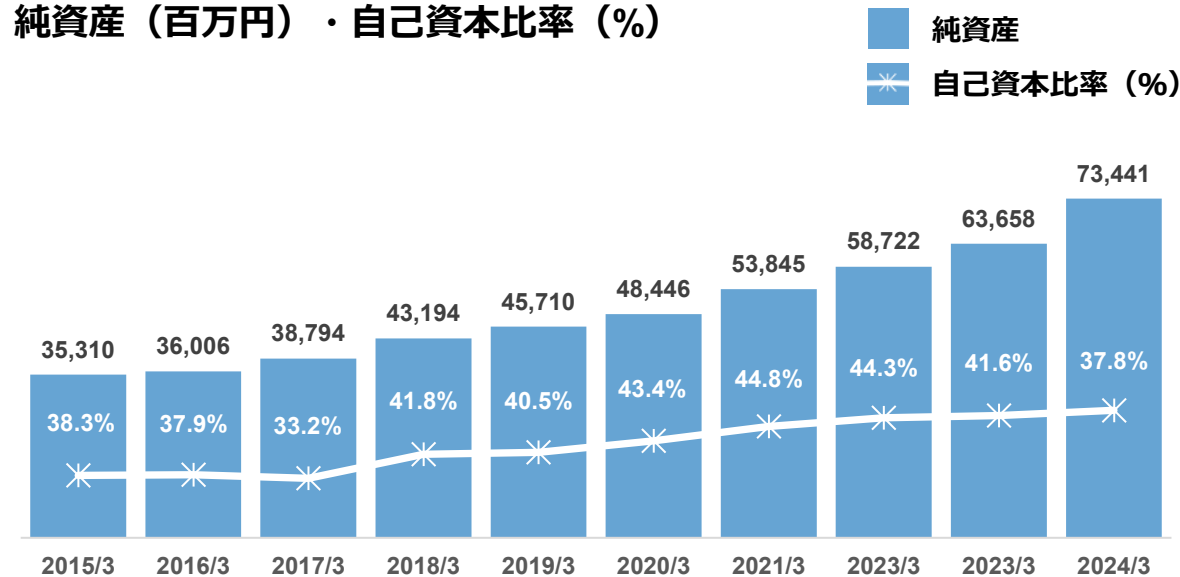


連結財政状態の推移

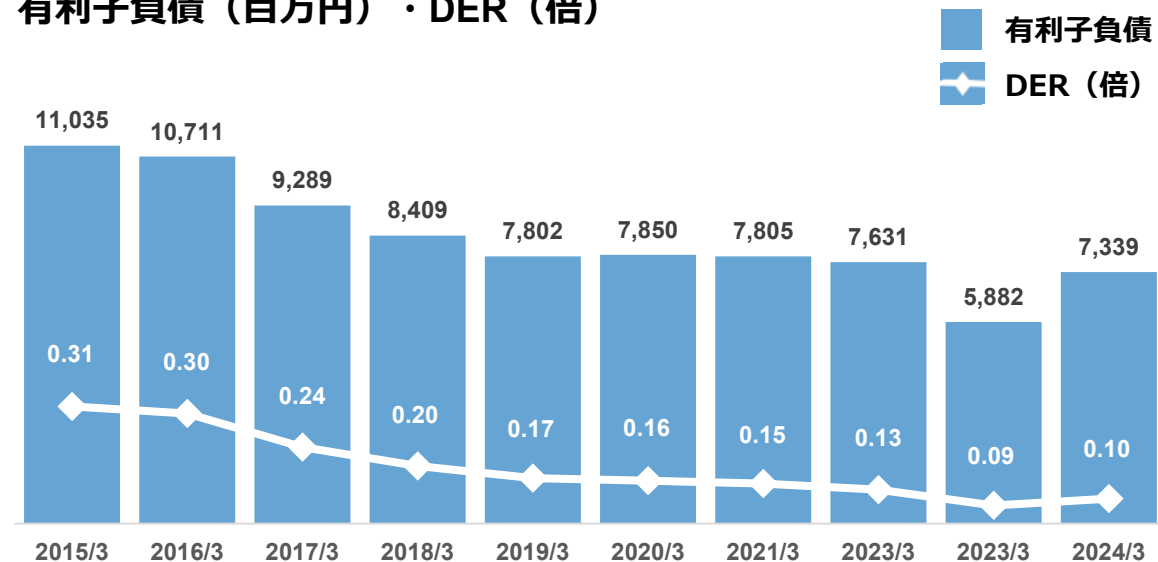
総資産（百万円）



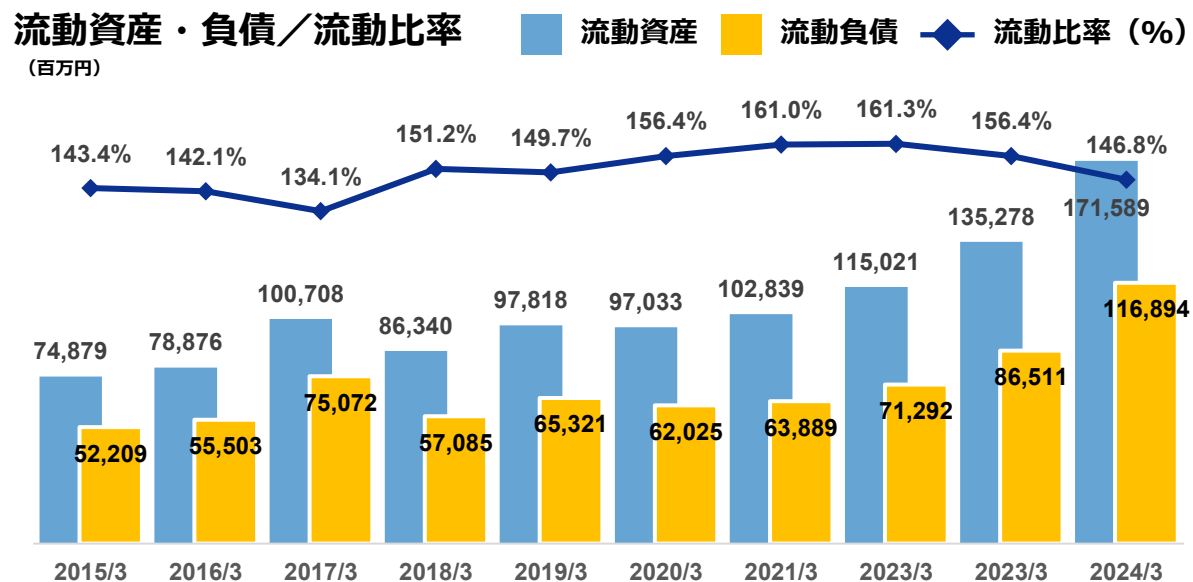
純資産（百万円）・自己資本比率（%）



有利子負債（百万円）・DER（倍）



流動資産・負債／流動比率
（百万円）





Memo



Memo



**DJK Report 2024(統合報告書)では、
当社の財務・非財務情報を総合的にご確認ください。**

https://www.djk.co.jp/ir/integrated_report.html



**決算関連資料
(決算説明資料・ファクトシート)**
<https://www.djk.co.jp/ir/briefing.html>



FACT SHEET 2024年3月期第2四半期 / Third quarter of year ending March 31, 2024
(2024年3月期第2四半期) (Unit: million yen)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期予想
■受注高 Orders Received	123,328	154,702	156,880	244,206	250,000
■売上高 Net Sales	84,031	104,286	111,141	148,075	153,874
■営業利益 Operating Income	1,668	1,941	1,576	4,754	5,363
■親会社株主に帰属する四半期純利益 Profit Attributable to Owners of Parent	1,369	1,541	1,076	3,389	3,739



個人投資家の皆さまへ 会社紹介資料
<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03440/8d9a2afa/5aad/4035/bf30/e66425de1163/20220706152724566s.pdf>





第一実業株式会社